

令和 7 (2025) 度流域モニタリング一斉調査結果 (西三河・東三河地域)

1 調査概要と背景

流域モニタリング一斉調査は、「水のきれいさ」、「水の量」、「生態系」、「水辺のよさ」の 4 つの視点から行うモニタリングであり、毎年 6 月から 9 月まで実施しています。

水循環再生行動計画では、水循環に対する県民意識の向上を図るため、気軽に参加できる水環境の調査として、「流域モニタリング一斉調査」の実施を位置付けています。

この一斉調査は、水質・水量・生態系・水辺といった水循環に関する項目からなる「水循環再生指標」(平成 19 (2007) 年 7 月作成) を活用したもので、平成 21 (2009) 年度から実施しています。水循環再生に向けた取組の評価や見直しに活用するだけでなく、流域全体の状況把握や流域内の連携向上を期待して行っています。

2 参加者の公募状況

幅広い県民を対象に流域モニタリング一斉調査の参加を促すため、事務局(県環境局環境政策部水大気環境課)が令和 7 (2025) 年 3 月 26 日付で調査の実施について公表するとともに、市町村に調査実施の広報と参加者募集を依頼しました。県内 33 の市町村が広報誌、ホームページ、チラシ等を活用して広報を行いました。

表 1 公募状況

地域名	広報誌	ホームページ	チラシ	複数 (広報誌+チラシ等)	その他	合計
尾張地域	2 (1)	2 (2)	5 (5)	6 (6)	0 (0)	15 (14)
西三河地域	2 (3)	2 (3)	2 (3)	7 (6)	0 (0)	13 (15)
東三河地域	2 (2)	1 (1)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	5 (5)
合計	6 (6)	5 (6)	7 (8)	15 (14)	0 (0)	33 (34)

※ () 内は、令和 6 (2024) 年度の状況を示す。

<参考>

	広報誌	ホームページ	チラシ	複数 (広報誌+チラシ等)	その他	合計
令和 6 (2024) 年度	6(3)[2]	6(3)[1]	8(3)[0]	14(6)[2]	0(0)[0]	34(15)[5]
令和 5 (2023) 年度	7(3)[2]	5(3)[1]	4(1)[0]	15(6)[2]	0(0)[0]	31(13)[5]
令和 4 (2022) 年度	7(3)[1]	7(2)[2]	2(1)[0]	13(5)[2]	0(0)[0]	29(11)[5]

※ () 内は西三河地域の、[] 内は東三河地域の状況を示す。

< 広報参考例 >

**流域モニタリング一斉調査
の参加者募集**

身近な川や池等の水のきれいさ、
量、生態系、様子を調査します。

📅 6月5日(休)～9月30日(火)の希望日

📄 申込書を持参かファクス・Eメ
ールで環境都市推進課(FAK76)
1112) /kankyo@city.anjo.lg.jp)

へ。申込期限は調査

時期により異なるため、

詳細は市HP参照

📞 環境都市推進課 (☎71)2206



流域モニタリング一斉調査

環境清掃課 ☎ 57-4100

ID 0244431

河川やため池など身近な水環境を
調査します。

と き 6月5日(休)～9月30日(火)

ところ 身近な川、湖、海、水路、
ため池など

申し込み 5月16日(休)までに電話ま

たはメールで、住所・氏名・電話

番号を環境清掃課 (☎ kankyo@

city.gamagori.lg.jp) へ。

※小学生以下は保護者同伴。

広報あんじょう 2025年5月号

広報がまごおり 令和7年5月号

3 参加者の実施状況

表2 実施状況

地域名	実施状況 (令和7 (2025) 年度)			
	市町村数	参加団体数	延べ参加人数	延べ調査地点数
尾張地域	6 (4)	44 (40)	287 (252)	93 (50)
西三河地域	10 (12)	57 (56)	395 (368)	183 (185)
東三河地域	1 (3)	1 (4)	8 (18)	4 (7)
合計	17 (19)	102 (100)	690 (638)	280 (242)

※ () 内は、令和6 (2024) 年度の状況を示す。

※前年度とも水質環境目標値市民モニタリング (名古屋市・夏期) 及び油ヶ淵流域水環境モニタリングを含み、伊勢湾流域圏一斉モニタリング (国土交通省・中部地方整備局) は含まず。

< 参考 >

	市町村数	参加団体数	延べ参加人数	延べ調査地点数
令和6 (2024) 年度	24 (12) [4]	124 (58) [10]	1,008 (415) [104]	335 (189) [39]
令和5 (2023) 年度	29 (13) [4]	136 (64) [11]	1,218 (562) [163]	342 (199) [37]
令和4 (2022) 年度	27 (12) [4]	127 (62) [11]	1,115 (506) [210]	340 (203) [53]
令和3 (2021) 年度	20 (9) [3]	114 (48) [8]	968 (596) [98]	358 (232) [33]
令和2 (2020) 年度	17 (5) [4]	103 (38) [4]	591 (191) [111]	180 (45) [43]
令和元 (2019) 年度	21 (8) [4]	121 (51) [14]	973 (306) [296]	220 (91) [36]
平成30 (2018) 年度	20 (7) [5]	104 (44) [7]	937 (257) [88]	160 (47) [18]
平成29 (2017) 年度	21 (11) [4]	108 (45) [8]	1,273 (494) [131]	196 (80) [25]
平成28 (2016) 年度	24 (12) [4]	122 (52) [8]	1,271 (555) [124]	196 (87) [20]
平成27 (2015) 年度	27 (11) [5]	127 (55) [9]	1,207 (443) [104]	213 (106) [19]

※ () 内が西三河地域の状況を、[] 内が東三河地域の状況を示す。

※水質環境目標値市民モニタリング (名古屋市・夏期)、伊勢湾流域圏一斉モニタリング (国土交通省・中部地方整備局) を含む。令和3 (2021) 年度以降は油ヶ淵流域水環境モニタリングを含む。

4 調査結果

(流域別及び各調査地点の評価については4～6ページ参照)

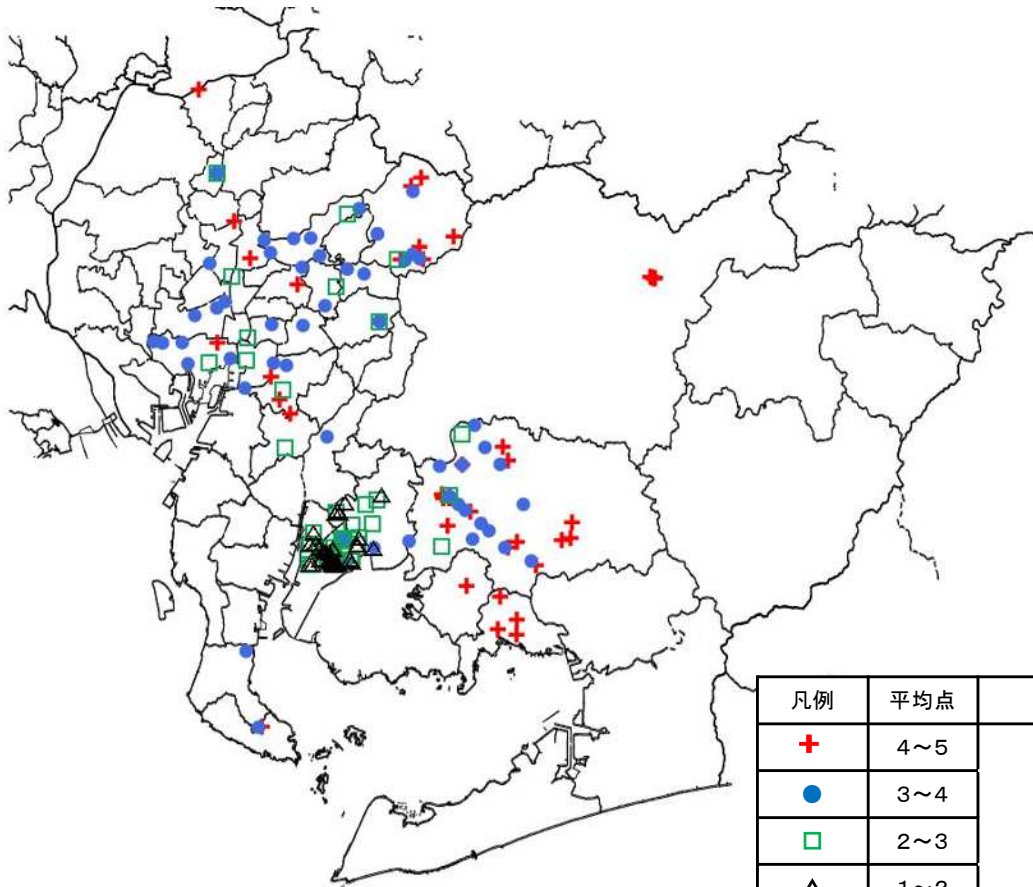
- 延べ参加人数は690人(昨年度比8%増^{*})、延べ調査地点数は280地点(昨年度比16%増^{*})でした。


尾張地域では、市町村数、参加団体数、延べ参加人数、延べ調査地点数すべてにおいて昨年度を上回る結果となりました。西三河地域では、参加団体数及び延べ参加人数が昨年度を上回り、市町村数及び延べ調査地点数が昨年度を下回る結果となりました。東三河地域では、市町村数、参加団体数、延べ参加人数、延べ調査地点数すべてにおいて昨年度を下回る結果となりました。

※令和7年度の伊勢湾流域圏一斉モニタリング(国土交通省・中部地方整備局)の提供を現時点で受けられていないため、当該調査を含まない比較。

- 各地域の調査地点は、多くが河川の中下流部で実施された評価となっています。
 - ・ 尾張地域：水質、水量、生態系及び水辺の4項目について、木曾川・庄内川等流域は3.6～3.8点とバランスよく評価されています。天白川・山崎川等流域では昨年度よりも生物が多く見られ、生態系について昨年度よりも高い評点となりました。日光川等流域では、生態系と水辺は2.0点となり、昨年度同様、他の流域と比較して低い評価となりました。
伊勢湾沿岸域(知多半島等)では、昨年度同様、調査未実施でした。
 - ・ 西三河地域：水質、水量、生態系及び水辺の4項目について、三河湾沿岸域(知多半島等)は3.3～3.8点、境川等流域は3.1～4.4点、矢作川等流域は3.2～4.1点で、それぞれバランス良く評価されています。
油ヶ淵等流域では、水質は2.2点、水辺は3.0点で、概ね昨年度と同様の結果となっており、水量及び生態系の2項目は評価の実施はありませんでした。
 - ・ 東三河地域：三河湾沿岸域(豊川・蒲郡)では、水質、水量、生態系及び水辺の4項目が3.0～4.5点とバランスよく評価されています。特に、水質は4.5点で、昨年度同様、高い評点となっています。
豊川・天竜川等流域及び三河湾・外海沿岸域(渥美半島等)では、今年度は調査未実施でした。
- 今後とも、県域全体の評価がバランス良く行えるように、モニタリングの参加者の増加を目指します。

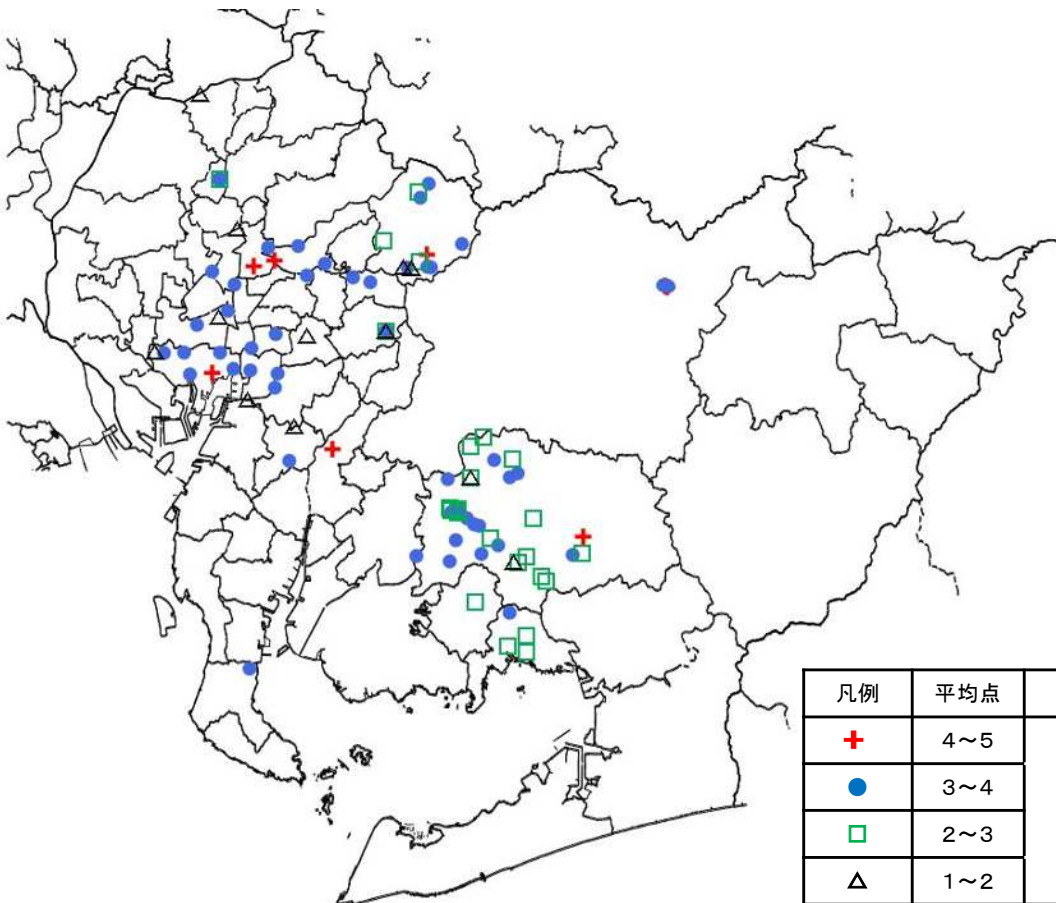
令和7（2025）年度 流域モニタリング一斉調査結果（水質）




凡例	平均点	判定
+	4～5	安全できれいな水  利用しにくい水
●	3～4	
□	2～3	
△	1～2	

※国土地理院が提供している数値地図（国土基本情報）を利用

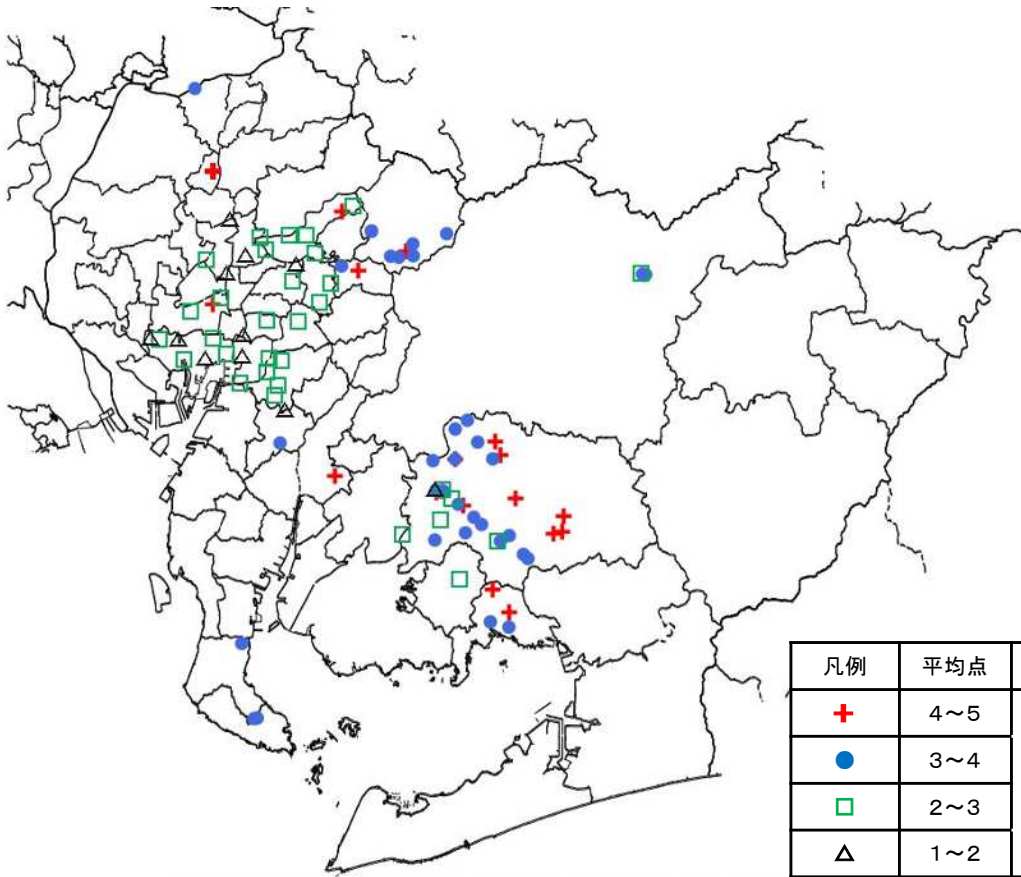
令和7（2025）流域モニタリング一斉調査結果（水量）



凡例	平均点	判定
+	4～5	十分な流れがある  流れがほとんどない
●	3～4	
□	2～3	
△	1～2	

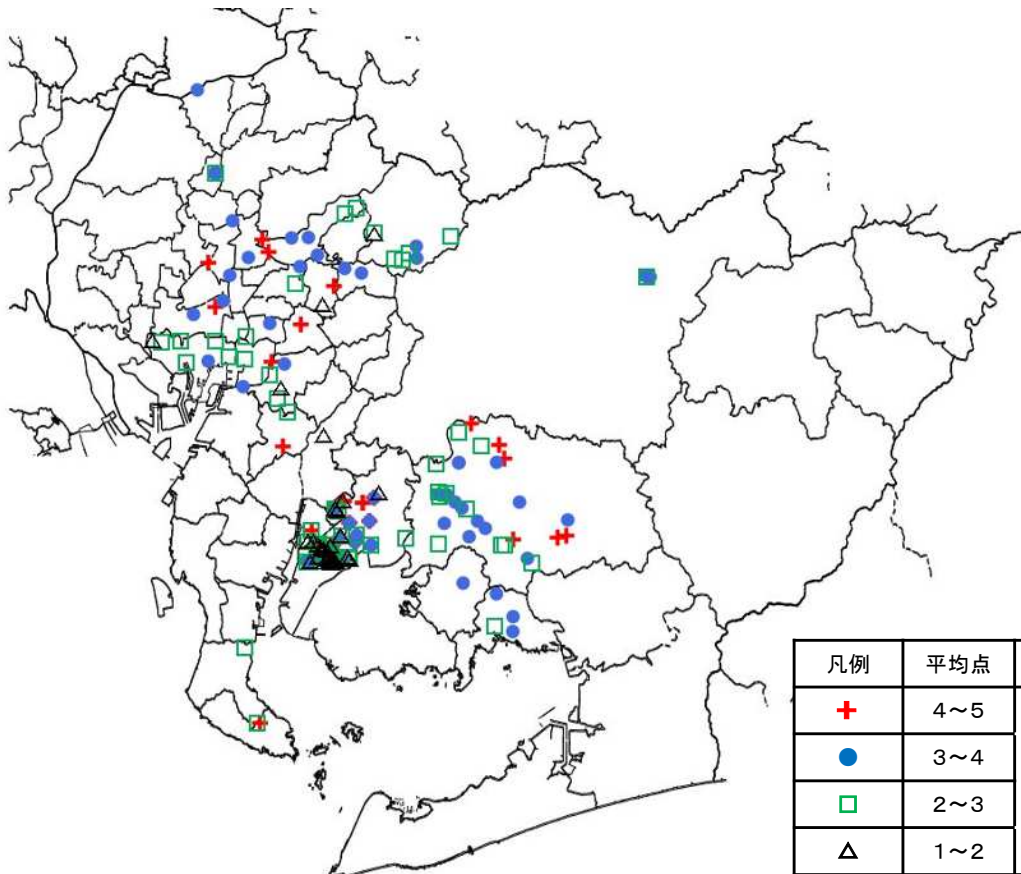
※国土地理院が提供している数値地図（国土基本情報）を利用

令和7（2025）年度 流域モニタリング一斉調査結果（生態系）



※国土地理院が提供している数値地図（国土基本情報）を利用

令和7（2025）流域モニタリング一斉調査結果（水辺）



※国土地理院が提供している数値地図（国土基本情報）を利用

令和7（2025）年度 流域モニタリング一斉調査結果（流域別とりまとめ）

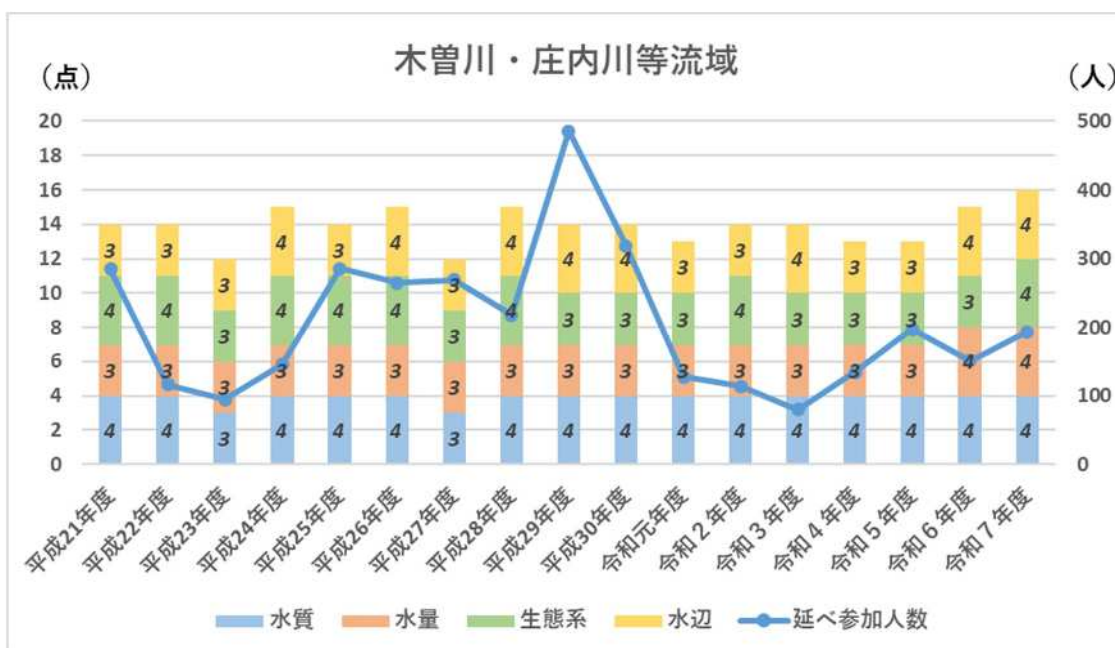


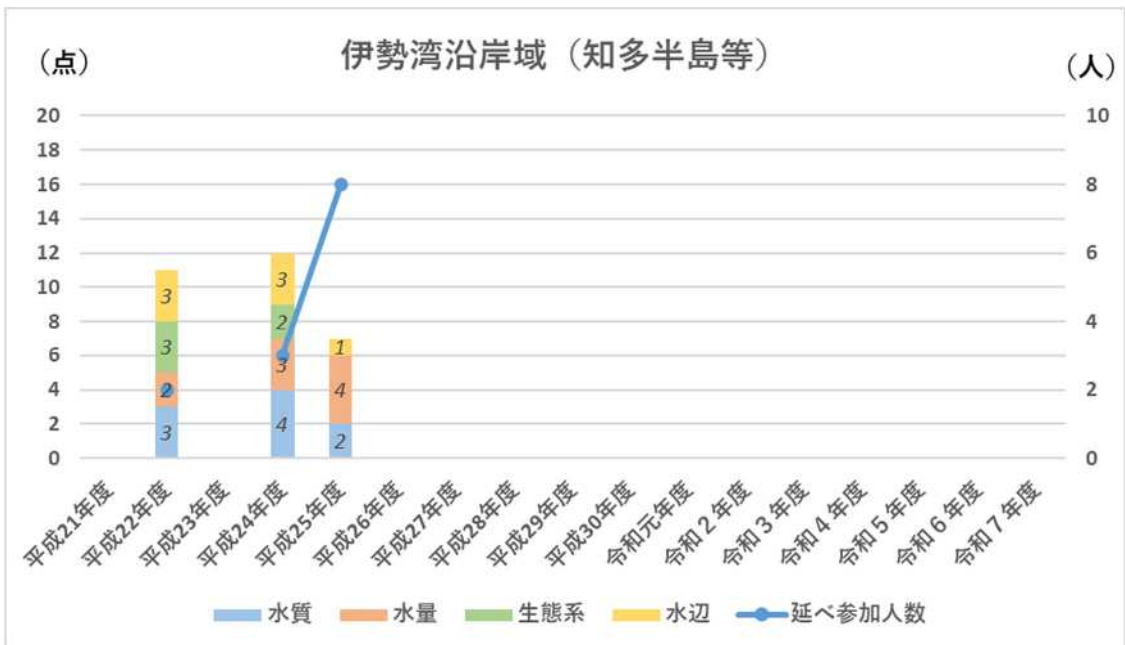
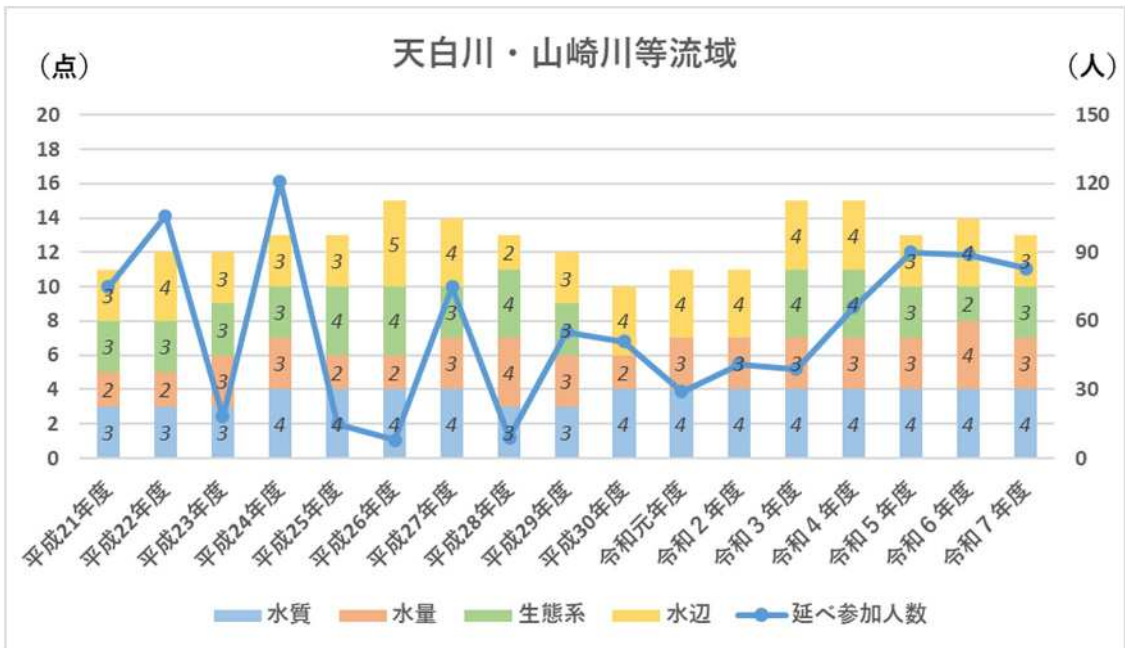
- ※1 流域名の後ろの【 】内の数字は地点数を示しています。
- ※2 油ヶ淵等流域の調査結果の水量及び生態系の調査はありませんでした。
- ※3 伊勢湾沿岸域（知多半島等）、豊川・天竜川等流域、三河湾・外海沿岸域（渥美半島等）の調査はありませんでした。
- ※4 国土交通省中部地方整備局が実施した伊勢湾流域圏一斉モニタリングの調査結果は含まれていません。

【参考】流域モニタリング一斉調査における流域別経年変化（平成21～令和7年度）

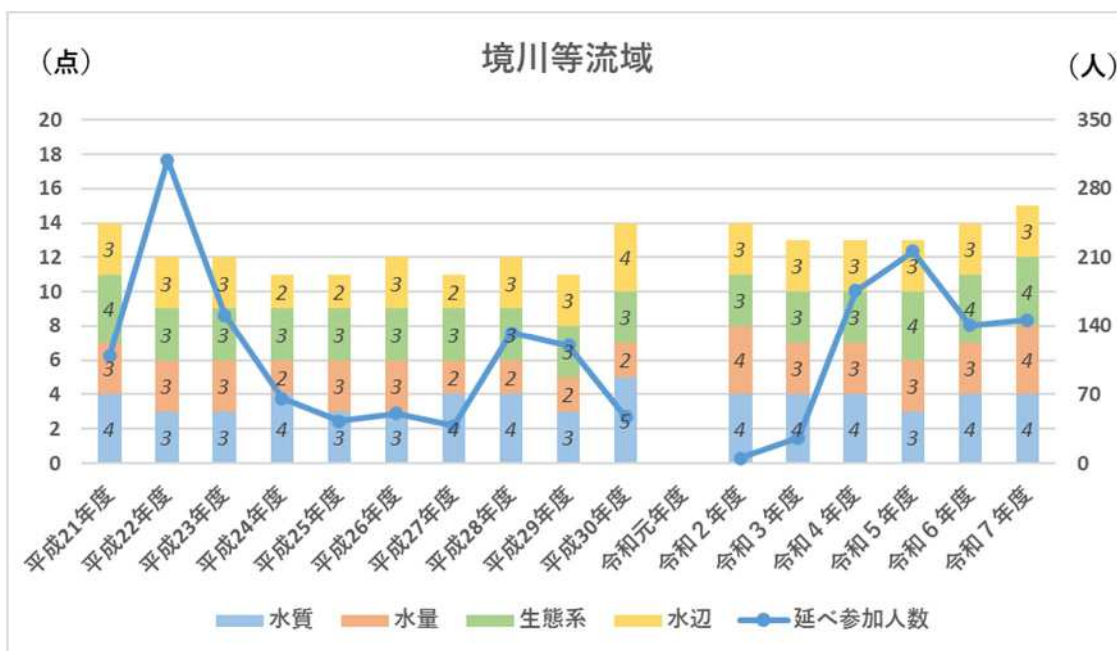
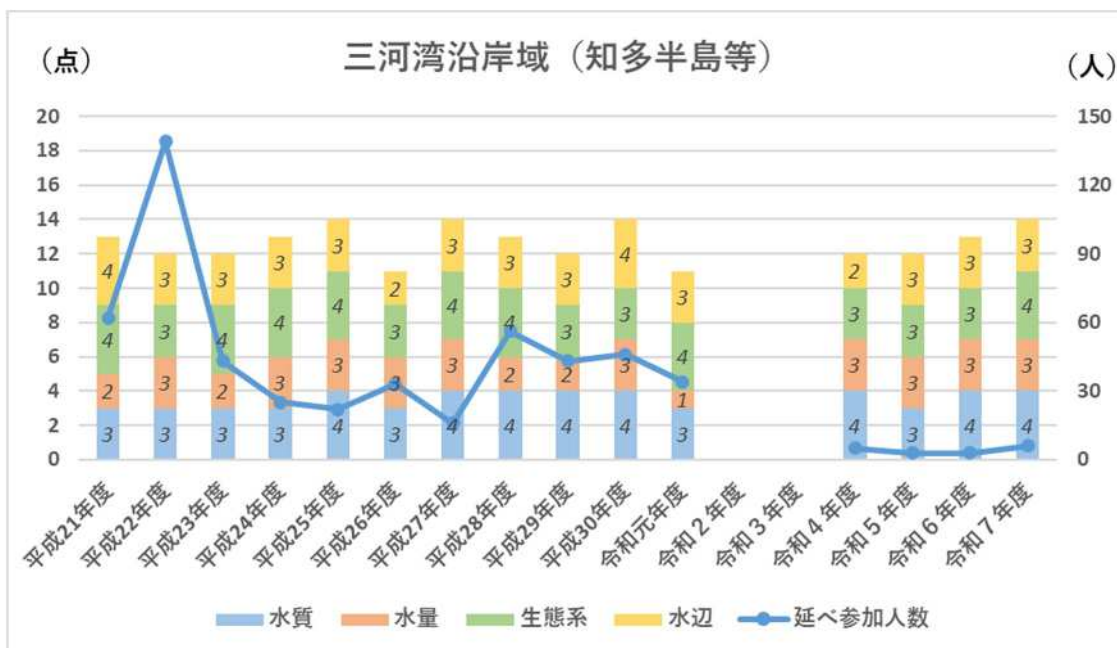
- ・各項目の評点は、平均値を四捨五入して整数化しています。
- ・令和3年度以降は油ヶ淵流域水環境モニタリングの結果を、平成28年度以降は水質環境目標値市民モニタリング（名古屋市・夏期）の結果を含みます。伊勢湾流域圏一斉モニタリング（国土交通省・中部地方整備局）の結果は含まれません。

【尾張地域】





【西三河地域】





【東三河地域】



